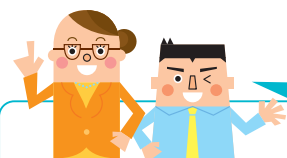


リサイクル製品の例

事業系廃棄物の多くが、分別収集、リサイクル処理を経て、次のような新たな製品に再生され、有効に活用されています。



生ごみ → 堆肥, 飼料	枝, 葉, 草 → 堆肥, 土壌改良材
廃食用油 → バイオディーゼル燃料	廃木材 → 紙
筒型乾電池 → 亜鉛地金原料, 鉄製品	雑がみ → 板紙, 固形燃料
蛍光管 → 水銀, グラスウール	新聞, 雑誌, 段ボール → 新聞, 雑誌, 段ボール
缶 → 缶, 鉄筋	紙パック → トイレtpペーパー, ティッシュペーパー
びん → びん, グラスウール	古繊維製品 → 工業用ぞうきん
ペットボトル → 卵パック, 繊維製品	金属類 → 鉄筋, 自動車部品
弁当の容器 → プラスチック製品, 固形燃料	発泡スチロール → 発泡スチロール



京都市の取組

ごみ減量・3R活動 優良事業所認定制度

百貨店、ホテル、病院、事務所、工場など、延べ床面積1,000m²以上の大規模な建物を対象に、ごみ減量や3R活動に積極的に取り組んでいる所を優良事業所として認定しています。



認定ステッカー



ただし君の質問 その5

環境マネジメントって何ですか？

何言ってるの！うちの会社でも取り組んでいるじゃない。

えっ！どんなものですか？

事業者が自ら環境保全に関する方針を立て、目標の達成に向けて取り組んでいくことよ。

じゃあ、詳しく見ていくわね。

環境マネジメントとは

事業者が自主的に環境保全に関する取組を進めるに当たり、方針や目標などを設定し、達成に向けて活動することを「環境マネジメント」、そのための体制や手続のことを「環境マネジメントシステム」といいます。

環境マネジメントの取組を進めていくことは、環境への意識が向上するだけでなく、コスト削減や事業所のイメージアップにもつながります。



環境マネジメントシステムの主な例

ISO14001 ※国際規格

- 環境マネジメントシステムの国際規格
- 方針・計画(Plan)→実施(Do)→点検(Check)→見直し(Act)という手順を繰り返すこと(PDCAサイクル)により、環境保全に関する取組を継続的に改善していくもの

エコアクション 21

- 環境省が策定した中小企業向け環境マネジメントシステム
- ガイドラインに基づき取り組む事業者を認証・登録するもの

KES

- 京都発祥の環境マネジメントシステムの規格
- 中小企業が取り組みやすい、低コストで段階的に環境改善活動を行うことができるもの